

社会科 2年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日本の諸地域	4月～10月	観察や野外調査、文献調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方の基礎を理解している。 また、地形図や主題図の読図、目的や用途に適した地図の作成などの地理的技能を身に付けている。	地域調査において、対象となる場所の特徴などに着目して、適切な主題や調査、まとめとなるように、調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し、表現している。	地域調査の手法について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
近世の日本	11月	ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣の統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎が作られたことを理解している。	ヨーロッパ人来航の背景とその影響からの課題、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係からの課題、また、武将や豪商などの生活文化の展開からの課題を見だし、多面的・多角的に考察し、表現している。	ヨーロッパ人来航の背景とその影響からの課題、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係からの課題、また、武将や豪商などの生活文化の展開からの課題を主体的に追究、解決しようとしている。
近世の日本（2）	11月～12月	江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などを基に、幕府と藩による支配が確立した。産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、文化が生まれたことを理解している。	近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
近世の日本（3）	12月	社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行きづまりを見せたことを理解している。	社会の変動や欧米諸国の接近による課題、幕府の政治改革による課題、新しい学問・思想の動きによる課題を見出し、多面的・多角的に考察し、表現している。	社会の変動や欧米諸国の接近に関する課題、幕府の政治改革に関する課題、新しい学問・思想の動きに関する課題を主体的に追究、解決しようとしている。
開国と近代日本の歩み	1月～3月	欧米諸国が近代社会を成立させて、アジアへ進出したこと、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したこと、立憲制国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したこと及び我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の様子と、近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
具体的な評価の方法		行動観察、発言、発表、パフォーマンステスト、レポート、単元テスト・定期テストなど	発言、発表の内容、レポート、単元テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、自己評価、振り返りシート、レポートなど